

小学校プログラミング教育実施レポート

令和2年度から必修化された小学校プログラミング教育の実施の様子を紹介するものです。
未来の学びコンソーシアムにて実施内容の精査を行うものではありません。

学習活動名	漢字の読みや使い方に気をつけて、熟語を作ろう
学年	小学校第5学年
目標	ビジュアルプログラミング「Viscuit」を活用し、漢字の読みや正しい使い方について理解を深める。
教材タイプ	ソフトウェア
使用教材	Viscuit
環境	児童1人で1台の端末を使用（PC室）
都道府県	徳島県
実施校	応神小学校
学習活動の概要・児童の様子（プログラミングの活動を中心に記載ください。）	<ul style="list-style-type: none">・本学級の児童は「Viscuit」を使用したことがあり、基本的な操作は理解している。・例として、2つの漢字が重なると熟語になるような場面を提示し、「どのようにプログラミングすればこのようになるか」と児童に課題を投げかけた。 「自分もやってみたい」「できそう」などの声があった。・1人がプログラミングに成功すると、近くの児童に伝達していき、徐々にクラス全体に広がっていった。・最初は、「漢」と「字」が重なると「漢字」になるような単純なプログラミングが多かったが、漢字を4つあわせて四字熟語にしたり、読み方が複数ある漢字や特別な読み方をする漢字を組み合わせたりするなど、複雑なプログラミングに挑戦する児童の姿も見られた。・上手く動かなかったときに、「どこが間違えているんだろう」と考え、試行錯誤する児童の姿が印象的だった。
成果と課題	児童が試行錯誤を繰り返し、自分たちで課題の解決方法を見つけようと意欲的に取り組むことができた。 今後は、他の教科の学習で、適したタイミングでプログラミングの活動を取り入れたい。